

『中心市街地活性化基本計画』への「花水木」提案事業

この提案事項は市・中心市街地活性化基本計画を策定するにあたり、まち研5グループそれぞれがまとめた活性化案です。

鶴生田川への関心が高まるためのイベント等事業の促進

花水木がすでに実施している「鶴生田川親水大作戦」での、プランター植え替え隊や川くだり探検隊、メルヘン灯ろう、イルミネーションなどの事業はもとより、流域住民によるソフト事業がより広がりを見せるよう、そのしかけ作りの促進を目指す。

鶴生田川の親水空間の実現

（１）鶴生田川の壁面を緑化する

鶴生田川の壁面につる植物等を植えることで、人々にやすらぎを与えます。具体的な効果としては、①鶴生田川の景観向上 ②ヒートアイランド現象緩和効果 ③夏場の悪臭の緩和 ④植物を地域で育てることでのコミュニティの強化 ⑤小中学校での環境教育への活用などの利点が期待できます。

（２）鶴生田川のフェンスを偽木フェンスにつけかえる

鶴生田川に現在かかっているフェンスを偽木フェンスにつけかえます。これにより①親水性の向上 ②老朽化した現状フェンスの危険防止 ③伸びすぎた樹木の伐採による通学路の安全確保などの利点が期待できます。

（３）鶴生田川沿いの歩道を透水性舗装にする

鶴生田川沿いの歩道を透水性舗装にします。効果としては、①鶴生田川への急激な水の流入を防止する治水効果 ②ヒートアイランド現象緩和効果 ③歩いて楽しい道路にすることによって鶴生田川沿いに回遊性を持たせるなどの利点があります。

（４）鶴生田川を二層構造河川にする

鶴生田川を二層構造河川にします。二層構造河川は、上層はある一定の浅瀬の川で、水量が増えると下層に流れ込むようになっていて、浅瀬を利用して、人々が水辺で親しめる空間を作り出せる効果があります。効果としては、①親水性が高まり、観光客や市民の憩いの場になる ②浅瀬になるので安全性が高まる ③川が身近になることで川の水をもっときれいにしたいという市民の意識が高まるなどの利点が期待できます。